

プロ野球ツイートのバースト現象の分析

矢富 匡祐

要旨

近年、TwitterやFaceookに代表されるソーシャルメディアの著しい普及に伴い、ソーシャルメディア上での利用者の行動に着目した研究が数多く行われるようになっていいる。本研究では、Twitter上でのプロ野球の試合に関するツイートを対象に、急激に投稿数が増加するバースト時と、非バーストすなわち通常時における利用者の行動の違いを分析することを目的とする。対象とした試合は、2015年セリーグのレギュラーシーズン27試合及びクライマックスシリーズ3試合、日本シリーズ5試合である。分析では、リツイート率や、リプライ率、画像やURLを含むツイートの割合や平均文字数などを、バースト時と非バースト時で比較した。また、バーストの原因として得点や失点など4つを考え、それぞれを要因とするバーストの特徴を分析した。加えて、既存研究で指摘されているツイートとリツイートのバーストに関する時間差についても検証を行った。これらの分析の結果として、バースト時にはRT率や平均文字数が減少するなど、既存研究の結果と一致する知見が確認できたが、ツイートとリツイート間の関係等、必ずしも既存研究の結果とは一致しない現象も認められ、利用者による行動が状況によって大きく異なることが示唆された。